北関東地方連合社会委員会　8・15集会

ヘイトスピーチから見えてくる現代日本の様子と教会

―平和をつくり出す者として―

群馬県議会は昨年、県立群馬の森公園（高崎市）にある「記憶 反省 そして友好」追悼碑撤去を決めました。現在、追悼碑を管理している「追悼碑を守る会」が、この不当決定撤回を求めて提訴しています。撤去決定のきっかけは、嫌韓主義に立つ右翼団による「追悼碑」への理不尽な攻撃からでした。こうした右翼団体らが、大久保（東京）や鶴橋（大阪）等でヘイトスピーチによるデモを行なっています。集団的自衛権行使を可能にする安全保障関連法案の強行採決、アジア近隣諸国との緊張関係、歴史修正主義に基づく歴史観等々との関連の中、ヘイトスピーチから見えてくる現代日本の様子と教会のあり方を、今回ご一緒に考えたいと思います。講師に、李 明生先生をお招きしました。ぜひご出席ください。

●日　時：2015年8月9日（日）15:00~16:30

●会　場：日本バプテスト連盟所沢キリスト教会

☞住所・所沢市泉町１８４７－２

☞できるだけ公共交通機関、またはお乗り合わせておいでください。

●ゲスト：李　明生（リ アケオ）先生

1970年、静岡県富士市生まれ。早稲田大学大学院文学研究科哲学専攻修士課程を修了。2000年、日本ルーテル神学校卒業、日本福音ルーテル教会牧師として授按、日本福音ルーテル京都教会着任。2004年、ドイツ・ノイエンデッテルスアウ、バイエルン福音ルーテル教会立アウグスタナ神学大学にて、W.シュテーゲマン教授のもとで社会史的新約研究を学ぶ。2008年より日本福音ルーテル三鷹教会牧師。現在、日本キリスト教協議会（ＮＣＣ）在日外国人の人権委員会委員長。

◆ お問い合わせ ◆

北関東地方連合社会委員会

委員長　大島博幸・０９０－３４５２－７３４１